

祝辞

更なる奉仕と貢献を期待しています！



福岡市長
高島 宗一郎

福岡北ロータリークラブの創立30周年記念式典が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、昭和58年のクラブ結成以来、社会奉仕を活動の機会として、人とのふれあい・見聞を広められるとともに、発足時より継続して行われているボイースカウトへの支援をはじめ、これまで、福祉施設への支援やサクラ再生事業、福岡市内の小中学校への冊子・図書の寄贈など多岐にわたる活動に精力的に取り組まれております。これらの奉仕活動が長きにわたり継続されておりまでも、歴代の会長様をはじめ、役員・会員の皆様のご熱意とご努力によるものと、心から敬意を表する次第であります。

福岡市におきましては、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」をまちづくりのコンセプトに、この地に住むすべての人がいきいきと輝けるまちを目指しております。

また、「住みよいまち」として評価される福岡市の魅力や活力を維持し、将来にわたり発展していくためには、住みやすさに更に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と投資を呼び込むことにより、さらに生活の質が高まるという好循環を創って

いくことが必要だと考えております。

そのためには、皆様に象徴される多様な活動がこの目標の実現に向けての力強い支援になるものと大いに期待するところであります。

今後とも、ロータリークラブの皆様をはじめ、様々な分野の企業や団体、そして地域・市民の皆様のお力添えを賜りながら、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、福岡北ロータリークラブの今後の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念いたします。

2013年(平成25年) 4月6日

互助互恵で 絆の強い社会づくりを！



国際ロータリー
第2700地区
ガバナー（2012-2013）
井手 和英
(久留米ロータリークラブ)

福岡北ロータリークラブさんの創立30周年、誠におめでとうございます。

貴クラブは、福岡城西ロータリークラブをスポンサークラブとして、1983年6月3日に当地区で52番目に創立されております。爾来、歴代の会長、幹事、役員をはじめ会員の皆さんが、“超我の奉仕”的精神のもと一致結束して、明るい楽しいクラブ運営に努められるとともに、各自の職業を通して、更には様々な奉仕活動を通して地域社会の発展に大きく貢献しておられます。

クラブ運営におきましては、ロータリーの原点である例会を特に大切にされ、会員相互の親睦を深めるために、テーブル会や夜間例会を取り入れるなどいろいろと工夫されておられます。この事もあり、貴クラブの例会出席率は、ここ数年98%以上と非常に良好であり、当地区61クラブの中でトップクラスにあります。また、近年は多くのクラブにおいて会員の減少が続いている中、貴クラブは逆に会員が順調に増加しております。誠にご同慶の至りであります。

奉仕活動においては、創立以来、次世代を担う青少年の健全育成を中心とする活動に取り組んでこられております。クラブ発足時の記念事業として、ボイスカウト福岡第14団を創立し、今日まで30年に亘り資金援助のみならず様々な支援活動を行っておられます。この他、子供たちに読書を通じて多くの

事を学んで欲しいという思いから、市内の小中学校に図書の贈呈を行ったり、地元小学生と共に西公園の桜再生事業を行っておられます。これら長年に亘る地域社会への貢献に心より敬意と感謝を申し上げます。

この度の30周年記念事業におきましても、ボーイスカウト福岡14団との“30キロ合同ハイキング”や、市民の皆さんを招いての“親と子の絆”をテーマとする講演会やパネルディスカッション、先の東日本大震災を風化させないための支援活動など地域社会に根差した諸行事に取り組んでおられます。

今日、ロータリーは、会員の減少や活動の在り方などいろいろと問題を抱えておりますが、貴クラブのように会員一人ひとりがロータリーの原点に注力すると同時に地域社会が抱える諸問題に積極的に取り組んで行かれることが何よりも大切ではないかと思います。

貴クラブの今後ますますのご発展を祈念申し上げ私の挨拶とさせていただきます。

2013年(平成25年) 4月6日

もっと大きな、 太い“絆”を



スポンサークラブ
国際ロータリークラブ
第2700地区
福岡城西ロータリークラブ
会長 (2012-2013)

小柳 康之

福岡北ロータリークラブの皆様、創立30周年を迎えて、心よりお慶びとお祝いを申し上げます。

さて、貴クラブは1983年に福岡城西ロータリークラブをスポンサークラブとして設立された経緯は10年前の20周年のこの式典で我々クラブの先輩会長中西勇氏が詳しく述べられております。

その後今日までの30年間の歩みは平坦な道ばかりでなかつたと想像します。

現在会員67名の固い結束で、奉仕の実践を第一に各種事業が実を結び地区大会ガバナー表彰に輝くなど他クラブへの模範となるものが多いと聞いております。

このたびの30周年記念事業の幾多のプログラムで繰り広げられた中で、ボーイスカウトとの30キロハイクは、福岡城西ロータリークラブ第15代会長も勤められた30年前の特別代表平野桂樹氏の提案「樹を育てるより人を育てる事業を」の理念を継承してあるとの事です。

先達の理念がしっかりと育ってる30年と敬服いたします。

30年という時間軸は互いの両クラブが意識して守り発展させなければ、ややもすると細くなり先達のご意思をたがえることが考えられます。

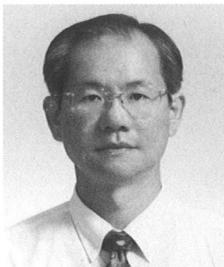
この30年の記念すべき式典を契機に両クラブの人的交流はそれぞれがかなりなものを持っていきます

ので、クラブ間交流の絆を発展させる機会にしなければと思います。

最後になりましたが、貴クラブの今後のますますのご隆盛と会員皆様方のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、ご祝辞とさせていただきます。

2013年(平成25年) 4月6日

友誼長久



姉妹社
中華民国台灣
高雄中興扶輪社
社長 (2012-2013)

張榮輝

◆ 漢文

福岡北30週年社慶賀詞。

社長張榮輝Finance. 2013.4.6

首先祝福福岡北扶輪社成立30週年，感謝邀請我們參加這麼有意義的活動，讓我們感到非常的榮幸。貴我兩社自1997年3月8日締結姐妹社以來，今年是第16週年，去年適逢敝社20週年紀念慶典，貴社由社長植田正男率領共有21位社友來到高雄參加敝社慶典，各位的熱情相挺，印證「海內存知己，天涯若比鄰」這句古老的詩詞，它是說「我們是世間上一群真正的知心朋友，哪怕遠隔天涯海角，心中也和近鄰一樣，以真心善念對待彼此，日久兩心相融，感受心靈的溫暖，才能成為知己」，也才能體會「千金易得，一友難求」這樣的意境，可見古人對知己的看重，遠在金錢名利之上，甚至超過了生命。人生能有如此知己，那是何等美好的人生啊！真誠之心、友善之意，是任何一個人所能夠奉獻給他人的最美好的無價之寶，所以我們再一次由衷感謝。

貴國與台灣地理位置相鄰，經濟條件相同都是天然物資匱乏島嶼，但在這樣的環境下卻蘊育出讓世人驚羨的經濟奇蹟，科技文明，雖然受到歐洲及美國金融風暴影響，發生經濟停滯現象，相信以貴國人民勤勞聰明的特質，一定可以克服萬難，再創另一個奇蹟。

今年欣逢 貴社成立30週年，我們有14位社友及眷屬共34位團員抱著感恩的心專程向大浦純平社長及全體社友表達非常敬意，祝願我們的友誼長長久久，貴社社運昌隆，各位社友事業順利。

◆ 和文

はじめに福岡北ロータリークラブ創立30周年をお祝い申し上げます。私たちは、この様な意義ある活動に参加できることを大変光栄に存じ上げる次第です。

私達両クラブは、1997年3月8日姉妹締結以来、今年で16周年を迎えます。去年弊クラブ20周年の記念式典には、植田正男会長は21名の会員を引率して出席して頂きました。各位の情熱が突出しているのは古人の詩詞の言葉を実証しています。「海内存知己、天涯若比鄰」～天下に知己は在り、天の果て地の果てに在つても心はいつも隣りに在る。～

又、彼らが言うには、「私たちは世間の中で一群の真正で互いの心を知る友人であり、たとえ天の果て遠隔の地に在ろうとも心はいつも身近にある。真心と善意をもって互いに対応すれば、長い年月が経つに連れて両者の心は融和し、魂のぬくもりを感受し、知己に成ることができる。」

又、「大金は得やすいが、一人の友は求め難し」と云う境地に立つものです。古人は「知己」を重要視することが分かります。金銭や名声、利益を遠ざけ、甚だ生命を超越すると言つても過言ではありません。

人生においてこの知己を有することは、どんなに素晴らしい人生であることか！眞の誠意、親和と友愛の心は、人々に最も素晴らしい無償の宝をもって奉仕貢献することができます。それゆえ私たちは再度心から感謝を申し上げます。

さて、貴国と台湾は地理上では隣りどうしで、経済的には双方共天然資源は乏しい島国です。但し日本はこのような悪環境の中で数多くの人材を育成して、世界の人々が驚き羨望する経済の奇跡と科学技術文明をも生み出しました。

其の後欧米から起こったリーマンショックの影響で一時的に停滞したが、貴国の人々の勤勉で聰明な特質で万難を克服して、再び次なる奇跡を創出すると確信します。

今年、貴クラブ創立30周年にあたり、私たちは14人の会員及び家族等総勢34人の団員は報恩感謝の心を以て訪問、大浦純平会長はじめ会員の皆さんに敬意を表するものです。

私たちの友情が永久に続き、貴クラブの発展、クラブ会員各位の事業が順調であることを願い、心からお祝い申し上げます。

2013年(平成25年) 4月6日